

健康とよはし推進計画(第2次)改訂版2018-2022におけるにおけるパブリックコメントの結果

平成29年12月1日から平成30年1月4日までの間、健康とよはし推進計画(第2次)2018-2022(案)について意見募集を行いました。提出された意見およびそれに対する市の考え方は以下のとおりです。

受付番号	分類	区分	意見の概要	意見に対する豊橋市の見解
1	こころの健康 及び休養の支援	個人	例年自殺者が多く、自殺の原因は働き盛りの人やうつ病になった人が多くなっています。うつ病のサインが分からない人が多く、結果、追いつめられて自殺行為などする方がいます。6年後の平成34年度の目標の「減少」についてももう少し検証を試みたり、アンケートなど取っただけ結果が出たかをやるべきだと思います。	平成28年に国の自殺対策基本法が改正されたことをうけ、本市でも自殺対策に関する計画を作成していきます。本市の実情に応じた施策を展開するため、いただいたご意見を参考に、検証や分析を行い、今後も様々な関係機関や団体と連携を図りながら更なる予防対策に取り組んでまいります。
2	身体活動・運動の定着	個人	寝たきりにならないためには活動量を増やし、足腰の筋力低下を防ぐことが重要。例えば「豊橋弁ラジオ体操」のような豊橋オリジナルで若い世代の人にも興味を持ってもらえるようなプログラムを開発し、どんどん発信して欲しい。	いただいたご意見を参考に、より楽しみながら効果的な施策を検討し情報発信してまいります。
3	施策全般について	個人	現在、国では人生100年時代を見据えた「人生100年時代構想会議」の中間報告(案)が作成され、冒頭の第1章で人生100年時代、人づくり革命について記載されています。いずれも健康づくり推進計画における心と体の健康、健康寿命の延伸に通ずるものがあり、時代に即した計画と思いますが、基本目標に追加して「人生100年(または90年)時代を見据えた健康づくり」の記載、サブタイトルに「Shift 100(90)」があれば改訂版としての計画となると思います。	参考意見として受け止めさせていただきます。